

1 月別気象概況（平成 28 年 1 月～12 月）

福岡管区気象台

（1）1 月の気象概況

上旬：期間の前半は天気は周期変化、後半は冬型気圧配置で曇りや雨 高温 寡照

- ・期間の前半は高気圧と低気圧や気圧の谷が交互に通過して、天気は短い周期で変化した。期間の後半は冬型の気圧配置により、曇りや雨となる日が多かった。
- ・気温は、期間の初めと終わりに平年を下回る所もあったが、その他の期間は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量と日照時間は県内各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、6.7～9.3℃（平年差+1.9～+2.7℃）で概ね平年よりかなり高く、旬降水量は 0.0～7.5mm（平年比 0～50%）で概ね平年より少なく、旬日照時間は平年比 46～74%で、県内各地で少なかった。

中旬：低気圧の通過後冬型の気圧配置となる日が多く、寒気の影響を受けて曇りで雨や雪

17 日に「大雪に関する福岡県気象情報」を発表

18 日に八幡と行橋で「日最大風速」の 1 月の極値更新

- ・期間の中頃に高気圧に覆われて晴れる日もあったが、低気圧の通過後冬型の気圧配置による寒気の影響を受けて曇る日が多く、雨や雪またはあられが降る日があった。
- ・17 日は九州南岸を通過した低気圧の影響で、県内各地で 30mm 前後のまとまった雨が降った。冬型の気圧配置が強まり、強い寒気が九州北部に流れこんだ 18 日夜から 19 日にかけては雪を伴う荒れた天気となり、山沿いを中心に平地でも積雪した所があった。また、18 日は八幡で西北西 8.7m/s、行橋で西 11.2m/s の日最大風速を観測して「日最大風速」の 1 月の極値を更新した。この天候に対して 17 日から 20 日にかけて「大雪に関する福岡県気象情報」を第 1 号から第 7 号まで発表した。
- ・気温は、期間の中頃までは平年を上回る日もあったが、終わりは平年をかなり下回り、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は概ね平年を上回り、

日照時間は県内各地で平年を下回った。

- ・県内各地の旬平均気温は、3.3～6.1℃（平年差-1.2～-0.1℃）で平年並の所が多く、旬降水量は17.5～53.5mm（平年比75～179%）で平年より多い所が多く、旬日照時間は平年比79～96%で、平年並の所が多かった。

下旬：低気圧や気圧の谷の影響と冬型気圧配置による記録的な寒気の流れ込みで雨や雪 気温の変動大きく 多雨 寡照

21日に「暴風雪と高波及び大雪に関する福岡県気象情報 第1号」を発表

24日に八幡で「日最大風速」の1月の極値更新

24日に大牟田などで、25日に朝倉などで「日最低気温の低い方から」の年の極値更新

24日に朝倉などで「日最高気温の低い方から」、29日に耳納山で「日降水量」の、また添田などで「月間日照時間の少ない方から」の1月の極値更新

- ・低気圧や気圧の谷の影響で雨や雪が降り、特に24日から25日は冬型の気圧配置が強まり、記録的に強い寒気の流れ込みで、荒れた天気となり、大雪となった所もあった。風が強く、八幡で24日に西北西9.4m/sの日最大風速を観測して「日最大風速」の1月の極値を更新した。また、強い寒気の影響で日中も気温が上がらず、最高気温が0℃未満の「真冬日」となった所が多く、大雪と低温による凍結の影響で広い範囲で交通の乱れや断水が相次いだ。終わりは高気圧に覆われて概ね晴れた。
- ・24日は大牟田で-7.4℃、添田で-7.2℃、空港北町で-4.3℃、25日は朝倉で-8.3℃、黒木で-7.9℃、太宰府で-5.6℃、博多で-4.4℃の最低気温を観測し、「日最低気温の低い方から」の年の極値を更新した。また、24日の最高気温は、朝倉で-1.9℃、太宰府で-1.7℃、行橋で-1.1℃、博多と大牟田で-0.3℃、前原で-0.2℃までしか上がらず「日最高気温の低い方から」の1月の極値を更新し、空港北町では0.3℃を観測して年の極値を更新した。この天候に対して21日から25日にかけて「暴風雪と高波及び大雪に関する福岡県気象情報」など第1号から第14号まで発表した。29日は、前線を伴った低気圧の通過でまとまった雨となり、耳納山で日降水量33.5mmを観測し、「日降水量」の1月の極値を更新した。
- ・気温は、期間の前半は平年を下回り、かなり下回る日もあった。後半は平年を上回ったが、旬では平年を概ね下回った。降水量は県内各地で平年をかな

り上回り、日照時間は平年をかなり下回った。

- ・県内各地の旬平均気温は、 $3.1\sim 5.7^{\circ}\text{C}$ （平年差 $-0.9\sim 0.8^{\circ}\text{C}$ ）で平年並の所が多く、旬降水量は $36.0\sim 85.5\text{mm}$ （平年比 188～311%）で、概ね平年よりかなり多く、旬日照時間は平年比 30～55%で、県内各地で平年よりかなり少なかった。

(2) 2月の気象概況

上旬：天気は数日の周期で変化し期間の中頃に雪

- ・高気圧と気圧の谷や寒気の影響を交互に受けて、天気は数日の周期で変化した。7日は冬型気圧配置となって強い寒気の流れ込みで雨や雪が降り、積雪した所もあった。
- ・気温は、期間の後半に平年を下回る日があったが、平年を上回る日が多く、旬では平年を上回る所が多かった。降水量は概ね平年を下回り、日照時間は平年を上回る所と下回る所があった。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $3.7\sim 6.8^{\circ}\text{C}$ (平年差 $-0.6\sim +0.5^{\circ}\text{C}$) で概ね平年並、旬降水量は $0.0\sim 28.0\text{mm}$ (平年比 $0\sim 130\%$) で概ね平年より少なく、旬日照時間は平年比 $90\sim 111\%$ で概ね平年並だった。

中旬：前半は暖かく湿った気流、後半は寒気の影響を受けて曇りの日が多く雨や雪の日が続いた 高温 多雨 寡照
13日に八幡、空港北町で「日最大1時間降水量」、博多で「日最低気温の高い方から」、また20日に空港北町で「日降水量」の2月の極値更新

- ・高気圧に覆われて晴れた日もあったが、期間の前半は低気圧や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多く、後半は冬型気圧配置による寒気の影響を受けて概ね曇りで雨や雪が降った。13日から14日にかけて、発達しながら日本海に進んだ低気圧に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んで県内各地で気温が上がり、まとまった雨が降った。特に13日は八幡で 16.5mm 、空港北町で 15.5mm の「日最大1時間降水量」を観測し2月の極値を更新。また、博多では日最低気温 14.3°C を観測して「日最低気温の高い方から」の2月の極値を更新した。20日は空港北町で「日降水量」 38.5mm を観測して2月の極値を更新した。
- ・気温は、期間の中頃に平年を下回る日があったが、期間の初めと終わりは平年を上回り、初めはかなり上回る日もあり、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $7.0\sim 9.4^{\circ}\text{C}$ (平年差 $+1.2\sim +2.1^{\circ}\text{C}$) で、県内各地で平年より高く、旬降水量は $54.5\sim 95.5\text{mm}$ (平年比 $173\sim 267\%$) で、平

年よりかなり多い所が多く、旬日照時間は平年比 39～67%で、平年よりかなり少ない所が多かった。

下旬：天気は数日の周期で変化、後半は気温の変動が大きかった

- ・期間を通して、高気圧と気圧の谷や寒気の影響を交互に受けて、天気は数日の周期で変化した。25日は冬型気圧配置による強い寒気の影響で積雪した所があり、27日は湿った気流の影響で雷雨となった所があった。
- ・気温は、期間の中頃までは平年並か平年を下回る日が多く、終わりは平年をかなり上回る日があり、気温の変動が大きかったが、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、5.1～7.5℃（平年差-2.6～-0.2℃）で、平年並、旬降水量は7.0～32.0mm（平年比28～119%）で、平年より少ない所が多く、旬日照時間は平年比104～128%で、概ね平年並だった。

(3) 3月の気象概況

上旬：前半は高気圧に覆われて概ね晴れ 後半は前線や湿った気流の影響で曇りや雨 高温

6日に大牟田で「日最高気温の高い方から」の3月の極値更新

- ・期間の前半は高気圧に覆われて晴れた日が多く、後半は前線や湿った気流の影響を受けて曇りや雨。6日は暖かく湿った気流の影響で気温が上がり、大牟田では「日最高気温」 24.5°C を観測して「日最高気温の高い方から」の3月の極値を更新した。9日は前線を伴った低気圧が東シナ海から九州南部を東北東に進んだ影響で、県内で $19.5\text{mm}\sim 48.0\text{mm}$ のまとまった雨が降った。
- ・気温は、期間のはじめと終わりに平年を下回る日があったが、中頃を中心に平年を大きく上回る日が多く、旬では県内各地で平年を大きく上回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を上回る所が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $10.1\sim 12.1^{\circ}\text{C}$ （平年差 $+3.1\sim +3.8^{\circ}\text{C}$ ）で、平年よりかなり高く、旬降水量は $20.0\sim 50.0\text{mm}$ （平年比 $71\sim 122\%$ ）で、概ね平年並、旬日照時間は平年比 $80\sim 121\%$ で、概ね平年並だった。

中旬：天気は、前半は曇りや雨の日多く、後半は周期変化

19日にソメイヨシノの開花

- ・期間の前半は、低気圧・気圧の谷や冬型気圧配置による寒気の影響を受けて雲が広がり、雨やみぞれ、山間部では雪の降る日もあった。期間の後半は、高気圧と低気圧の影響を交互に受けて、天気は数日の周期で変化した。19日に福岡でソメイヨシノの開花（平年より4日早く、前年より3日早い）を観測した。
- ・気温は、期間の前半は平年を下回る日が多く、かなり下回る日もあった。後半は平年を上回る日が続き、かなり上回る日もあり、旬では平年を上回る所が多かった。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は平年を上回る所と下回る所があった。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $8.4\sim 10.5^{\circ}\text{C}$ （平年差 $-0.4\sim +0.5^{\circ}\text{C}$ ）で平年並、旬降水量は $17.5\sim 36.0\text{mm}$ （平年比 $45\sim 80\%$ ）で、平年並か少なく、旬日照時間は平年比 $81\sim 116\%$ で、概ね平年並だった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった 終わりは低気圧の影響で雨 少
雨 多照
30日にソメイヨシノの満開
耳納山で「月降水量の少ない方から」の極値を更新

- ・高気圧に覆われて晴れた日が多く、内陸を中心に霜の降りた所もあった。終わりは九州の南岸を通過した低気圧の影響で雨となった。30日に福岡でソメイヨシノの満開（平年より2日早く、前年より1日遅い）を観測した。また、雨が少なく、耳納山では月降水量 64.0mm を観測し、「月降水量の少ない方から」の3月の極値を更新した。
- ・気温は、期間の中頃は平年を下回ったが、期間の初めと終わりは平年を上回り、旬では平年を上回る所が多かった。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、9.5～11.9℃（平年差-0.6～+0.7℃）で平年並の所が多く、旬降水量は 6.5～21.5mm（平年比 15～44%）で、概ね平年よりかなり少なく、旬日照時間は平年比 128～149%で、平年よりかなり多い所が多かった。

(4) 4月の気象概況

上旬：低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった 高温 寡照

6日から7日にかけては「暴風と高波に関する福岡県気象情報」を発表した

7日に黒木で「日最大風速」の4月の極値更新

- ・3日から4日にかけてと7日は、前線を伴った低気圧の通過で雨となった。特に7日は、雷と強風を伴って大雨となった所があった。また、7日は、黒木で南南西の風 10.1m/s を観測し「日最大風速」の4月の極値を更新した。
- ・気温は、期間を通して平年を上回り、県内各地で平年を大きく上回った。降水量は概ね平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、14.7～17.0℃（平年差+2.7～+3.7℃）で平年よりかなり高く、旬降水量は 47.0～152.5mm（平年比 92～266%）で概ね平年より多かった。旬日照時間は平年比 52～72%で概ね平年よりかなり少なかった。

中旬：高気圧と低気圧が交互に通過し天気は短い周期変化

11日と14日に 高温に関する異常天候早期警戒情報を発表

16日に前原で「日最大風速」の4月の極値更新

- ・期間を通して高気圧と低気圧・前線及び気圧の谷が交互に通過して天気は短い周期で変化した。13日は東シナ海で発生した低気圧が九州南岸付近を東に進んで雨となった。また、16日から17日にかけては、低気圧が発達しながら日本海を東に進み、これから伸びる前線の影響を受けて雷と強風を伴って雨が降った。このため、16日は前原で南南東 14.6m/s を観測し「日最大風速」の4月の極値を更新した。
- ・気温は、期間の中頃を中心に平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は平年を上回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、14.6～16.5℃（平年差 +0.6～+1.7℃）で平年より高く、旬降水量は 19.5～84.5mm（平年比 45～177%）で、平年並の所が多く、旬日照時間は平年比 114～131%で、県内各地で平年より多かった。

下旬：低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨 期末は高気圧に覆われ晴れ 多雨寡照

21日に「暴風と高波に関する福岡県気象情報」を発表 行橋などで「日降水量」「日最大1時間降水量」の4月の極値更新

25日と28日に 高温に関する異常天候早期警戒情報を発表

博多などで「月平均気温の高い方から」の4月の極値、耳納山などで「月降水量の多い方から」の4月の極値更新

- ・期間を通して低気圧・前線や気圧の谷の影響を受けて雲が広がりやすく、雨の降る日が多かった。特に21日は対馬海峡を東に進んだ低気圧から伸びる、活動の活発な前線が九州地方を通過して各地で大雨となった。このため、行橋で104.5mm、耳納山で98.5mm、空港北町で95.5mmの「日降水量」を観測、また、行橋で25.5mm、添田で27.0mmの「日最大1時間降水量」を観測し、それぞれ4月の極値を更新した。その後も曇りや雨の日が続いたが29日と30日は高気圧に覆われて晴れた。
- ・気温は、期間の中頃までは平年を上回る日が多く、終わりは下回ったが、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、16.0～17.7℃（平年差 +0.5～+1.2℃）で、概ね平年より高く、旬降水量は77.5～185.5mm（平年比160～315%）で、県内各地で概ね平年よりかなり多く、旬日照時間は平年比56～76%で、県内各地で平年より少なく、かなり少ないところもあった。
- ・なお、博多で16.5℃、空港北町で15.4℃の月平均気温を観測、また、耳納山で286.0mm、英彦山で398.5mm、空港北町で245.5mmの月降水量を観測し、それぞれ「月平均気温の高い方から」及び「月降水量の多い方から」の4月の極値を更新した。

(5) 5月の気象概況

上旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多かった 高温

4日に、行橋などで「日最大風速」の5月の極値を更新

- ・高気圧に覆われて晴れた日もあったが、気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。4日は高気圧に覆われて快晴となったが、日本海の発達した低気圧に吹き込む風が強く、空港北町で西南西 15.9m/s、行橋で西南西 10.6m/s を観測し、「日最大風速」の5月の極値を更新した。
- ・気温は期間を通して平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は 18.2～20.2℃（平年差+0.7～+2.3℃）で平年より高く、旬降水量は 54.0～149.0mm（平年比 122～201%）で概ね平年より多く、旬日照時間は平年比 84～94%で平年並の所が多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日多かったが、16日は寒冷前線の通過で大雨 日照

- ・高気圧に覆われて晴れた日多かったが、16日は日本海の低気圧から伸びる寒冷前線の通過で、多い所で 80mm を超える大雨となった。
- ・気温は、はじめと後半に平年を下回る日があったが平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、18.1～20.7℃（平年差+0.3～+1.5℃）で概ね平年より高く、旬降水量は 27.5～110.5mm（平年比 43～148%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比 141～166%で、県内各地で平年より多かった。

下旬：天気は短い周期で変化した 高温

27日に空港北町で「日最低気温の高い方から」の5月の極値更新
太宰府と博多で「月平均気温の高い方から」の5月の極値更新

- ・高気圧と前線や低気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変化した。暖かい空気の流れ込みの影響で気温の高い日が多く、27日は空港北町で21.1℃の日最低気温を観測し、「日最低気温の高い方から」の5月の極値を更新した。
- ・気温は、期間を通じて平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を大きく上回った。降水量は平年を上回る所が多く、日照時間は概ね平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、21.0～23.4℃（平年差+1.4～+2.8℃）で平年よりかなり高く、旬降水量は24.5～75.0mm（平年比71～150%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比94～114%で概ね平年並だった。
- ・また、太宰府で20.6℃、博多で20.5℃の月平均気温を観測し、それぞれ「月平均気温の高い方から」の5月の極値を更新した。

(6) 6月の気象概況

上旬：期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れ 中頃は梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨

4日頃に九州北部地方は梅雨入り（平年比1日早い・前年比2日遅い）

- ・期間のはじめは高気圧に覆われて概ね晴れた。中頃は梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨となり、4日に九州北部地方は平年より1日早く、前年より2日遅く梅雨入りを発表した。期間の終わりは気圧の谷の影響で薄雲の広がる日もあったが、高気圧に覆われて概ね晴れた。
- ・気温は、期間の前半は概ね平年を下回ったが、後半は平年を上回り、旬では概ね平年を上回った。降水量は概ね平年を下回り、日照時間は平年を下回る所が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、20.6～22.9℃（平年差-0.2～+0.7℃）で、概ね平年並、旬降水量は14.0～62.0mm（平年比39～138%）で、概ね平年並、旬日照時間は平年比79～107%で、平年並の所が多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった 高温

19日から20日かけて、博多などで「日最大1時間降水量」の6月の極値を更新した。

- ・高気圧に覆われて晴れた日もあったが、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。19日から20日にかけて梅雨前線の活動が活発となり、局地的に雷を伴った激しい雨が降り、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表した。19日に博多で55.5mm、20日に耳納山で57.0mmの1時間降水量を観測し、「日最大1時間降水量」の6月の極値を更新した。
- ・気温は、平年を下回る日もあったが、平年を上回る日が多く、旬では平年を大きく上回った。降水量は平年を上回り、日照時間は概ね平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、23.4～25.0℃（平年差+1.0～+2.2℃）でかなり高く、旬降水量は78.0～229.0mm（平年比115～286%）で概ね平年より多く、旬日照時間は平年比79～102%で平年並だった。

下旬：期間を通じて梅雨前線の影響で曇りや雨 多雨 寡照
大牟田などで「日降水量」の年間の極値を更新

- ・期間を通じて、九州付近に停滞した梅雨前線の影響で曇りや雨となった。とくに、22日は、梅雨前線の活動が活発となり、大牟田で300.0mm、朝倉で214.5mmを観測し、「日降水量」の年間の極値を更新、博多では141.0mmを観測し、「日降水量」の6月の極値を更新する記録的な大雨となった。
- ・気温は、期間の前半は平年を上回ったが、後半は平年を下回り、旬では概ね平年を下回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、22.3～23.8℃（平年差-1.5～+0.1℃）で、概ね平年並、旬降水量は156.5～511.5mm（平年比126～248%）で、県内各地で平年より多く、旬日照時間は平年比23～69%で、県内各地で平年より少なかった。

(7) 7月の気象概況

上旬：期間の初めと終わりは梅雨前線の影響で曇りや雨、中頃は太平洋高気圧に覆われて晴れた 高温

- ・期間の初めと終わりは梅雨前線が九州付近に停滞して曇りや雨となった。とくに 8 日は九州の西海上に発生した低気圧に伴う暖かく湿った気流の影響で、筑後地方を中心に日降水量が 100mm 近くに達する大雨となった。期間の中頃は太平洋高気圧が勢力を強め、晴れて気温が上がり、3 日から 6 日にかけて最高気温 35℃以上の猛暑日となったところがあった。
- ・気温は、期間の終わりに平年を下回る日があったが、その他は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、25.8～28.5℃（平年差 +1.8～+3.1℃）で平年よりかなり高く、旬降水量は、48.5～142.0mm（平年比 34～100%）で、概ね平年並、旬日照時間は平年比 116～144%で、概ね平年より多かった。

中旬：期間のはじめは梅雨前線の影響で曇りや雨、中頃は前線活動弱まり、終わりは高気圧に覆われて晴れ
九州北部地方は 18 日ごろに梅雨明け

- ・期間のはじめは九州付近に停滞した梅雨前線の影響で曇りや雨となった。特に 13 日は行橋で日降水量 132.0mm など、100mm を超える大雨となった。中ごろは引き続き梅雨前線が九州付近に停滞したが、活動が弱く晴れ間が広がり、終わりは高気圧に覆われて晴れ、18 日ごろ「九州北部地方は梅雨明け」（平年より 1 日早く、前年より 11 日早い）した。16 日と 19 日は最高気温 35℃以上の猛暑日となったところがあった。
- ・気温は、期間を通じて概ね平年並で経過し、旬では概ね平年を上回った。降水量と日照時間は平年を上回る所が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、25.9～27.4℃（平年差 -0.6～+0.6℃）で概ね平年並、旬降水量は 109.5～236.0mm（平年比 88～168%）で平年より多い所が多く、旬日照時間は平年比 87～123%で平年並の所が多かった。

下旬：高気圧に覆われて概ね晴れ 多照

25日に「大雨に関する福岡県気象情報」を発表

- ・気圧の谷や強い日射と湿った気流の影響で雲が広がりにわか雨の降る日があったが、太平洋高気圧に覆われて概ね晴れた。25日は大気の状態が不安定となり、大雨に関する福岡県気象情報を発表した。また、晴れて強い日射の影響をうけて日最高気温 35℃を超える猛暑日を予想し、23日、24日と27日から31日は最高気温 35℃以上の猛暑日となったところがあった。
- ・気温は、期間の前半は平年を下回る日があったが、後半は平年を上回り、旬では平年を上回った。降水量は平年を大きく下回り、日照時間は平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、27.0～29.6℃（平年差 +0.4～+1.5℃）で平年並か高く、旬降水量は 0.0～17.0mm（平年比 0～26%）で概ね平年より少なく、旬日照時間は平年比 123～141%で平年より多かった。

(8) 8月の気象概況

上旬：期間の中頃に上空の寒気と強い日射で雷を伴う大雨となった日があったが、高気圧に覆われ晴れて猛暑続く

8日は八幡で、10日は空港北町で「日最高気温の高い方から」の8月の極値更新

- ・期間を通じて高気圧に覆われて概ね晴れの日が続き、強い日射で気温が上昇し、連日最高気温が35℃を超える猛暑となる所があり、期間中連続で高温注意情報を発表した。8日は八幡で36.7℃、10日は空港北町で36.4℃の日最高気温を観測し、それぞれ「日最高気温の高い方から」の8月の極値を更新した。また、5日から8日にかけて、強い日射と上空の寒気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴った強い雨が降った所があった。
- ・旬の気温は、期間を通じて概ね平年を上回り、旬平均では県内各地で平年を上回った。降水量は概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、27.5～30.0℃（平年差 +0.6～+1.9℃）で概ね平年より高く、旬降水量は、0.0～59.0mm（平年比 0～120%）で、平年並か少なく、旬日照時間は平年比 115～149%で、概ね平年より多かった。

中旬：高気圧に覆われ晴れて猛暑続く 高温 多照

11日は大牟田で、19日は宗像で「日最高気温の高い方から」の8月の極値更新

12日、19日に「長期間の高温と少雨に関する福岡県気象情報」発表

- ・期間を通じて高気圧に覆われて概ね晴れの日が続いた。強い日射で気温が上昇し、連日、最高気温が35℃以上の猛暑日となる所が多く、期間中連続で高温注意情報を発表した。11日は大牟田で37.5℃、19日は宗像で36.7℃の日最高気温を観測し、「日最高気温の高い方から」の8月の極値を更新した。梅雨明け後高温と少雨が続き、今後も続く予想となったため、12日に「長期間の高温と少雨に関する福岡県気象情報」第1号、19日に2号を発表した。
- ・旬の気温は、期間を通じて平年を大きく上回り、旬平均でも県内各地で平年を大きく上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地

で平年を大きく上回った。

- ・県内各地の旬平均気温は、28.4～30.8℃（平年差 +1.6～+2.9℃）で平年よりかなり高く、旬降水量は、0.0～21.5mm（平年比 0～33%）で概ね平年より少なく、旬日照時間は平年比 145～165%で、県内各地で平年よりかなり多かった。

下旬：前半は高気圧に覆われ晴れて猛暑

7月27日から8月26日まで31日連続で高温注意情報を発表

後半は寒気の影響で雨となり気温下がる

30日は八幡と空港北町で「日最低気温の低い方から」の8月の極値更新
大牟田で、「月平均気温の高い方から」、「月降水量の少ない方から」、「月間日照時間の多い方から」の8月の極値更新

多くの地点で「月間日照時間の多い方から」の8月の極値更新

- ・期間の中頃までは高気圧に覆われて概ね晴れた。強い日射で気温が上昇し、連日、最高気温が35℃以上の猛暑日となる所が多く、7月27日から8月26日まで31日連続で高温注意情報を発表した。終わりは寒気を伴う気圧の谷や低気圧の影響で大気の状態が不安定となり、28日から29日にかけては雷を伴い大雨となった。また、寒気の流れ込みで気温が下がり、30日は八幡で17.6℃、空港北町で20.1℃の日最低気温を観測し、「日最低気温の低い方から」の8月の極値を更新した。大牟田では月平均気温28.9℃、月降水量30.0mmを観測し、「月平均気温の高い方から」、「月降水量の少ない方から」の8月の極値をそれぞれ更新した。
- ・旬の気温は、期間の中頃までは平年を上回り、終わりは平年を大きく下回り、旬では概ね平年を上回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、25.7～27.9℃（平年差 -0.1～+0.8℃）で概ね平年並、旬降水量は、26.0～129.5mm（平年比 36～183%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比 100～126%で、平年より多い所が多かった。
- ・8月は晴れた日が多く、月間日照時間は、宗像で288.3時間、八幡で267.5時間、行橋で274.8時間、前原で269.5時間、太宰府で238.6時間、添田で233.6時間、朝倉で268.0時間、黒木で262.4時間、大牟田で290.8時間を観測し、「月間日照時間の多い方から」の8月の極値を更新した。

(9) 9月の気象概況

上旬：期間の後半は高気圧に覆われて晴れた日があったが、期間を通して台風や湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多かった 寡照

- ・台風第12号は、九州の西海上を勢力を弱めながら北上し、5日01時過ぎに長崎市付近に上陸し、5日09時に対馬海峡で熱帯低気圧となった。台風第13号は7日、九州の南海上を東北東に進み、9日03時に温帯低気圧となった。
- ・旬の気温は、期間のはじめと終わりに平年を下回る日があったが、上回る日が多く、旬では平年を上回る所が多かった。降水量は概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $24.3\sim 26.4^{\circ}\text{C}$ （平年差 $-0.8\sim +0.6^{\circ}\text{C}$ ）で平年並、旬降水量は、 $17.0\sim 78.5\text{mm}$ （平年比 $26\sim 112\%$ ）で概ね平年並、旬日照時間は平年比 $53\sim 68\%$ で、県内各地で平年より少なかった。

中旬：秋雨前線と台風第16号の影響で曇りや雨 多雨 寡照

18日は空港北町で「日降水量」と「日最大1時間降水量」の9月の極値更新

20日に台風第16号が大隅半島に上陸

- ・期間を通じて秋雨前線が九州付近に停滞し、12日と18日は前線の活動が活発化して大雨となり、18日は空港北町で 128.0mm の「日降水量」と 39.0mm の「日最大1時間降水量」を観測し、それぞれ9月の極値を更新した。また、台風第16号は20日0時過ぎに「非常に強い」勢力で大隅半島に上陸し、その後東北東進して日向灘に抜けた。
- ・台風に伴う発達した雨雲の影響で九州南部を中心に暴風を伴う大雨が降ったが、九州北部では台風接近に伴う降水量は比較的少なかった。
- ・旬の気温は、期間の中頃は平年を上回ったが、初めと終わりは平年を下回り、旬では概ね平年を上回った。降水量は県内各地で平年を大きく上回り、日照時間は県内各地で平年を大きく下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $23.3\sim 25.1^{\circ}\text{C}$ （平年差 $-0.6\sim +0.9^{\circ}\text{C}$ ）で概ね平年並、旬降水量は、 $104.5\sim 314.0\text{mm}$ （平年比 $341\sim 585\%$ ）で、県内各地で平年よりかなり多く、旬日照時間は平年比 $40\sim 54\%$ で、県内各地で平年よ

りかなり少なかった。

下旬：高気圧に覆われ晴れた日もあったが前線と暖かく湿った空気の影響で曇りや雨 高温 多雨

28日は耳納山で「日降水量」の9月の極値更新 また、筑後市から八女市にかけて竜巻が発生

行橋など多くの観測所で「月降水量の多い方から」、「月間日照時間の少ない方から」の9月の極値更新

- ・期間の中頃は高気圧に覆われて概ね晴れたが、期間のはじめと終わりは気圧の谷や秋雨前線の影響で曇りや雨となった。とくに 27 日夜から 28 日にかけては対馬海峡に停滞した秋雨前線の活動が活発化して、28日は耳納山で 130.5mm の「日降水量」を観測し、9月の極値を更新した。また、28日 20 時 10 分頃、筑後市から八女市にかけて竜巻が発生し、住家やビニールハウスの倒壊などの被害が発生した。
- ・旬の気温は、はじめ平年を下回る日もあったが、中頃を中心に平年を大きく上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を大きく上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、22.6～25.0℃（平年差 +1.2～+2.8℃）で、概ね平年よりかなり高かった。旬降水量は、74.0～310.0mm（平年比 199～591%）で、概ね平年よりかなり多く、旬日照時間は平年比 39～87%で、概ね平年より少なかった。
- ・9月は期間を通じて曇りや雨の日が多く、月降水量は、空港北町 376.5mm、行橋 423.0mm、博多 493.5mm、太宰府 631.5mm、朝倉 484.0mm、久留米 456.5mm、耳納山 595.0mm、黒木 503.0mm を観測し、「月降水量の多い方から」の9月の極値を更新した。また、月間日照時間は少なく、飯塚 83.3 時間、宗像 102.4 時間、八幡 84.5 時間、行橋 79.4 時間、前原 98.6 時間、添田 79.9 時間、朝倉 99.8 時間、久留米 85.7 時間、黒木 111.2 時間を観測し、「月間日照時間の少ない方から」の9月の極値を更新した。

(10) 10月の気象概況

上旬：天気は数日の周期で変化した 台風第18号や秋雨前線の影響で大雨となる日があった 高温 多雨

2日から5日にかけて、県内各地で「日最高気温の高いほうから」と「日最低気温の高いほうから」の10月の極値更新

5日に、黒木で「日最大風速」の10月の極値更新

- ・期間を通して、天気は数日の周期で変化した。5日は台風第18号の影響で、8日は秋雨前線の活発化で大雨となった。また、5日は南よりの風が強まり、黒木で南8.1m/sを観測し「日最大風速」の10月の極値を更新した。また、2日から5日にかけては気温が高く、久留米、朝倉、大牟田、黒木、大宰府、前原、空港北町で「日最高気温の高いほうから」の、4日は福岡、久留米、空港北町、八幡、博多、行橋、前原、大宰府、飯塚、宗像、黒木、添田で「日最低気温の高いほうから」の10月の極値を更新した。
- ・旬の気温は、終わりに平年を下回る日もあったが平年を大きく上回る日が多く、旬では県内各地で平年を大きく上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、22.3～24.6℃（平年差 +2.6～+4.4℃）で平年よりかなり高く、旬降水量は39.0～104.5mm（平年比115～314%）で県内各地で平年より多く、旬日照時間は平年比58～99%で概ね平年より少なかった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、気圧の谷や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かった 高温 寡照

- ・九州の北に中心を持つ高気圧に覆われる日が多かったが、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、気温が高く日照時間はかなり少なかった。
- ・旬の気温は、前半は平年を下回る日もあったが、後半は平年を大きく上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を大きく下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、18.4～20.9℃（平年差 +0.6～+2.1℃）で平年より高く、旬降水量は、11.0～34.0mm（平年比46～120%）で平年並の所が多く、旬日照時間は、平年比32～58%で県内各地で平年よりかなり少なかった。

った。

下旬：低気圧・前線、気圧の谷や湿った気流の影響で曇りや雨 高温 多雨 寡照
県内各地で「月平均気温の高い方から」、「月間日照時間の少ない方から」
の 10 月の極値更新

- ・24 日と 29 日から 30 日にかけては高気圧に覆われて概ね晴れたが、期間を通じて低気圧・前線、気圧の谷や暖かく湿った空気の流れ込みの影響を受けて曇りや雨の日が多く、22 日と 26 日は低気圧が九州付近を通過して各地でまとまった雨量となった。
- ・旬の気温は、期間を通じて平年を上回り、とくに中頃は平年を大きく上回る日が続き、旬の平均でも県内各地で平年を大きく上回った。降水量は県内各地で平年を大きく上回り、日照時間は県内各地で平年を大きく下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、16.8～19.2℃（平年差 +1.2～+2.7℃）で、平年よりかなり高かった。旬降水量は、27.0～107.0mm（平年比 193～611%）で、概ね平年よりかなり多く、旬日照時間は平年比 42～60%で、概ね平年よりかなり少なかった。
- ・また、10 月は期間を通して低気圧・前線、気圧の谷や暖かく湿った気流の影響を受けて気温が高く、雲が広がりやすい日が多かった。このため、県内各地の月平均気温は平年よりかなり高く、月間日照時間は平年よりかなり少なく、県内各地で「月平均気温の高い方から」及び、福岡を除く各地で「月間日照時間の少ない方から」の 10 月の極値をそれぞれ更新した。このため、報道発表資料を気象台ホームページに掲載した。
(<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/index.html>)

(1 1) 1 1 月の気象概況

上旬：低気圧や前線の影響で雨の日もあったが高気圧に覆われて概ね晴れ 低温
多照

- ・8日は日本海の低気圧から伸びる寒冷前線が九州を通過し、10日は九州北部付近を低気圧が通過して、それぞれ雨となった。その他の期間は高気圧に覆われて概ね晴れた。
- ・旬の気温は、期間の中頃は平年を上回る日もあったが、その他の期間は平年を下回り、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、11.6～14.6℃（平年差 -2.8～-1.1℃）で平年より低かった。旬降水量は、19.5～30.5mm（平年比 60～102%）で県内各地で平年並、旬日照時間は平年比 112～132%で県内各地で平年より多かった。

中旬：天気は数日の周期で変わった。18～19日は前線を伴った低気圧の通過で
雷を伴う雨 高温 多雨
前原で「日最大1時間降水量」の11月の極値を更新

- ・14日と18日から19日は、前線を伴った低気圧が九州北部地方を通過し、広く雨となった。19日は、所により雷を伴って激しく降り、前原では4時までの1時間に38mmを観測し、11月の「日最大1時間降水量」の極値を更新した。その他の日は高気圧に覆われて概ね晴れた。
- ・気温は、平年を上回る日が多く、旬では県内各地で上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、14.2～16.5℃（平年差 +2.6～+3.3℃）で、概ね平年よりかなり高かった。旬降水量は、42.0～89.0mm（平年比 119～489%）で、概ね平年よりかなり多く、旬日照時間は平年比 85～98%で平年より少ない所が多かった。

下旬：低気圧や気圧の谷、冬型の気圧配置の影響で、雲が広がりやすく雨の降
る日があった 多雨

- ・23日は気圧の谷の影響で、26日から27日は、前線を伴った低気圧が九州南部付近を通過して、雨となった。その他の期間も、寒気や気圧の谷の影響で雲の広がる日が多かった。
- ・旬の気温は、期間のはじめは平年を大きく上回り、その他の期間は平年並か下回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は概ね平年を上回り、日照時間は、県内各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、10.0～12.6℃（平年差 +0.1～+1.2℃）で概ね平年より高かった。旬降水量は、27.0～67.0mm（平年比 109～205%）で県内各地で平年より多く、旬日照時間は平年比 62～88%で概ね平年より少なかった。

(12) 12月の気象概況

上旬：高気圧と低気圧や前線、気圧の谷が交互に通過して天気は数日の周期で変化した

7日は福岡で初霜

- ・期間を通じて高気圧と低気圧や前線、気圧の谷が交互に通過して、天気は数日の周期で変化した。7日朝は高気圧に覆われ晴れて放射冷却による冷え込みで、福岡では平年より5日早く、前年より11日早い初霜を観測した。
- ・旬の気温は、期間を通じて概ね平年を上回り、旬平均は県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、7.9～11.9℃（平年差 +0.5～+1.6℃）で平年より高い所が多く、旬降水量は、2.5～16.0mm（平年比 20～62%）で平年より少ない所が多く、旬日照時間は平年比 108～151%で、県内各地で平年より多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが気圧の谷や冬型気圧配置の影響で曇りや雨 高温

15日は福岡で初雪 16日は背振山で初冠雪

- ・11日は高気圧に覆われ晴れたが、12日から14日にかけては低気圧の通過や気圧の谷の影響で曇りや雨となり、寒気が流れこんだ14日は「落雷とひょうに関する福岡県気象情報」を発表した。15日から16日にかけて冬型気圧配置が強まり、寒気が流れこんだ15日、福岡では夜みぞれが降り、初雪（平年と同じ、前年より2日早い）を観測し、翌16日は背振山の初冠雪（平年より8日遅く、前年より19日遅い）を観測した。17日以降は高気圧に覆われたが寒気や気圧の谷の影響で雲が広がりやすく、期末は雨の所もあった。
- ・旬の気温は、期間の中頃に平年を下回ったがその他の期間は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は平年を下回る所が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、6.9～10.0℃（平年差 +0.8～+1.5℃）で平年より高く、旬降水量は、16.0～74.5mm（平年比 121～369%）で平年よりかな

り多い所が多く、旬日照時間は平年比 86～108%で、県内各地で平年並だった。

下旬：高気圧と低気圧や気圧の谷が交互に通過して天気は周期的に変化した
高温 多雨

22 日は空港北町で「日最高気温の高い方から」、博多で「日最大風速」
の 12 月の極値更新

宗像などで「月平均気温の高い方から」、耳納山で「月降水量の多い方
から」の 12 月の極値更新

- ・21 日から 24 日にかけては、低気圧の通過と冬型気圧配置による寒気の流れ込みで雨や曇りとなった。25 日は高気圧に覆われ晴れたが、26 日から 29 日にかけては再び低気圧の通過後冬型気圧配置による寒気の影響で雨や曇りとなった。30 日と 31 日は高気圧に覆われて概ね晴れた。22 日は空港北町で 18.6℃の日最高気温、博多では南南東 14.6m/s の日最大風速を観測し、「日最高気温の高い方から」、「日最大風速」の 12 月の極値をそれぞれ更新した。
- ・旬の気温は、期間の中頃までは平年を上回り、その後平年を下回ったが、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を大きく上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、7.4～10.3℃（平年差 +1.8～+2.7℃）で平年よりかなり高い所が多く、旬降水量は、42.0～110.5mm（平年比 205～505%）で、県内各地で平年よりかなり多く、旬日照時間は平年比 71～96%で、平年並の所が多かった。
- ・12 月は月間を通して気温の高い状態が続き、雨の日も多く、月平均気温は宗像で 9.3℃、空港北町で 10.5℃、行橋で 8.9℃、前原で 9.7℃を観測、また、耳納山では月降水量 126.0mm を観測し、「月平均気温の高い方から」、「月降水量の多い方から」の 12 月の極値をそれぞれ更新した。

(13) 月別値の階級区分

福岡の月別値の階級区分

年 月	月平均気温	月降水量	月日照時間
平成 28 年 1 月	平年並	多い	かなり少ない
平成 28 年 2 月	平年並	多い	少ない
平成 28 年 3 月	かなり高い	少ない	平年並
平成 28 年 4 月	かなり高い	かなり多い	少ない
平成 28 年 5 月	かなり高い	多い	多い
平成 28 年 6 月	高い	多い	平年並
平成 28 年 7 月	高い	平年並	かなり多い
平成 28 年 8 月	高い	平年並	かなり多い
平成 28 年 9 月	高い	かなり多い	かなり少ない
平成 28 年 10 月	かなり高い	かなり多い	かなり少ない
平成 28 年 11 月	高い	多い	少ない
平成 28 年 12 月	かなり高い	かなり多い	平年並

階級区分について

気象要素の分布を値の大（高）、小（低）によって、「高い（多い）」、「平年並」、「低い（少ない）」の3階級を用い、平年から極端に異なった状況を表現する場合には、「かなり高い（多い）」、「かなり低い（少ない）」を補足的に用いています。3階級の出現率は「33.3%、33.3%、33.3%」（1：1：1）の等確率で、「かなり高い（多い）」、「かなり低い（少ない）」の出現率は10%です。